

表町データサイエンス・ラボ（連携先：岡山市表町商店街連盟）

ラボの課題

本ラボでは岡山市表町商店街が抱える課題を明らかにし、活性化に資する情報を獲得するため、データサイエンスに基づいた取り組みを行っています。本年度は19名の学生と2名の教員の体制で、表町商店街での様々な調査に取り組んでいます。

春学期の活動報告

■ 今年度は過去の蓄積を継承・発展させ、春学期の段階で具体的な調査の実施に至ることができました。

■ **土曜夜市における行動観察調査**：商店街訪問者の行動パターンの分類と計測を行い、実態を把握する行動観察調査を計画しました。昨年度の先輩の調査結果や他大学・他商店街の調査事例を検討し、分類の基準や方法論の見直しを行い、準備を進めました。7/18（土）の土曜夜市の日には、二つのチームで商店街の南北のエリアを分担し、それぞれのエリアで昼過ぎと夜（イベント実施時間）の各時間帯の調査を行いました。

■ **土曜夜市における来場者への質問紙調査**：過去数年間の論文・調査資料を検討し、必要な指標や質問項目について議論しました。また、昨年度のラボで採用された項目を見直し、土曜夜市の来場者を対象とする質問紙調査を計画しました。印刷版の質問紙とGoogle Formsの両方を使って、イベントの満足度や再訪意向、商店街の利用頻度などを調査しました。春学期には回答のコーディングが完了したので、今後はデータ入力と集計・分析の作業に進む予定です。

■ **空き店舗調査と桃の種飛ばし大会への参加**：今年度から新たに中国銀行様、JTB様と協力させていただき、現状の表町商店街の空き店舗の実態について調査を行いました。調査の結果で得られた知見を元に、中国銀行様とJTB様から与えられた課題に対して、他商店街の過去事例を調べ、解決案の提案に向けた資料を作成しました。

また、7/18(土)の土曜夜市において開催された、紙屋町商店街の桃の種飛ばし大会に運営スタッフとして参加し、計測、景品交換などを行いました。



今後の計画・目標

■ 秋学期は行動観察調査・歩行環境調査と、店主様調査・イベント来場者調査について、それぞれの基本的な準備を三つの班で分担して行う予定です。最終的な調査はラボメンバー総出で行う計画です。

■ 岡山市学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトとして、学外での発表活動も行います。今後、商店街連盟の皆様とも更なる協力をさせていただこうと考えています。



担当教員：塚常 健太，神田 將志

参加者：菅原 拓真，難波 大雅，根本 斗亜，土居 俊介，梶本 一希，原口 智充，本間 仁晟，宮本 勝也，山本 礼人，森 海晴，小林 一寿，橋本 善，片岡 大輔，山下 雄大，永原 莉玖，長岡 蓮，竹内 健人，野口 准，藤森 悠叶